

令和3年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月24日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 新学習指導要領に基づくとともに、本校生徒の資質・能力の育成をめざした教育課程の編成・運用を図る。</p> <p>② 生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力の定着及び思考力・判断力・表現力を育成する授業展開を行う。</p>	<p>② 生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力の定着及び思考力・判断力・表現力を育成する授業展開を行う。</p>	<p>② 思考力・判断力・表現力を育成するための授業研修会を実施する。</p>	<p>② 授業研修会の実施により、思考力・判断力・表現力を育成するための授業を実現したか。</p>	<p>② 2学期に授業研修会を計画していたが、コロナ感染者の急増により緊急事態宣言となり、休校期間が長く実施できなかった。しかし、オンライン授業の充実を図るため、試行的に学習動画コンテンツの導入を行った。</p>	<p>② 重点措置等で休校となる期間が長くなっているが、オンライン授業についてほとんどの教科で対応できている。自宅学習でも基礎学力の定着を図るために、学習動画コンテンツを正式に導入し、それを効果的に活用していく。</p>	<p>○ 小学校でも1人1台端末が導入されたが、個別最適化の効果も得られる。さらに、採点システムを導入することで、教員にも児童にもメリットがある。</p> <p>○ 一方で、一部には十分に活用していない学校がある。また、端末を使いこなせず、活用できてない教員がいるという実態もあり、事前の職員研修が必要ではないか。</p>	<p>○ コロナ禍のために迫られて、令和3年度においてICT活用は各教員の指導に急速に身近なものとなった。1人1台端末が導入される4年度入学生への学習指導では、生徒保護者への経済的負担に見合う活用と成果を保証しなければならない。</p> <p>○ 1人1台端末が5年度入学生以降にも継続することを見越して、時代と情勢に合った学習指導へと最適化することが急務となる。</p>	<p>○ 令和4年度入学生においては、導入した学習動画コンテンツの活用は当然となる。活用のための活用ではなく定めた目標の達成のための活用となるよう教員への啓発と達成状況の把握などを行う。</p> <p>○ 新型コロナウイルスに感染、もしくは同居者等が感染した生徒、教員は対面の授業に参加できないことから、3年度以前の入学生に対してもオンラインでの指導や教材配付を試みていく。</p>
2 生徒指導・支援	<p>① 教育相談体制を充実させ、落ち着いた学校生活を提供するとともに、生徒の心のサポートを行う。</p> <p>② 部活動を更に充実させることにより、人間関係形成力や自己表現力を育成する。</p>	<p>① 教育相談体制を充実させ、落ち着いた学校生活を提供するとともに、生徒の心のサポートを行う。</p> <p>② 部活動を生徒会活動及び学校行事等の確実な実施と関連させながら充実させ、学校全体の活性化を図る。</p>	<p>① 感染防止に配慮した新しい生活様式を身につける指導を行う。</p> <p>② コロナ禍の様々な制約のある中、活動自体の工夫や新しい試み等を柔軟に取り入れると同時に必要なサポート体制、配慮事項を整える。</p>	<p>① 感染防止についての認識を深めることができたか。</p> <p>② 部活動、生徒会活動及び学校行事の実施に対して工夫ができたか。配慮事項の整備で生徒支援ができたか。結果、部活動については加入率に反映されたか。</p>	<p>① 感染防止に配慮した新しい生活様式を身につけることができた。</p> <p>② 各部の大会や校内の各行事がコロナ禍による中止や延期が相次ぎ、様々な活動で生徒のモチベーションの維持に苦慮した。各部ではリモートによるトレーニングなど新たな方法で工夫を凝らし活動した。文化祭の代替となる発表の場としてDVDを制作した。また、生徒会活動で全校生徒の意見を本部が集約するための仕組みを講じたことは活性化につながった。</p>	<p>① 生徒の感染防止は社会状況により疎かになりやすい時期もあるので、指導を継続していく。コロナの影響は続くものとして、活動の工夫を継続しつつ、心のサポート体制を発展させる。</p> <p>② 発表場面の確保はすべての行事や活動に必要なものと認識し、校外での機会の利用も積極的に検討する。コロナ禍の現在、部活動加入率は7割で、この数値は各部の工夫による数字ととらえている。今後、学校が活動へのサポートとして何を講じ、保障していくかを明確にする。</p>	<p>○ 地域との協調は進めてほしい。</p> <p>○ 小学校でも、発表を行う児童の活動にタブレット端末を活用している。文化部の発表の場に活用することも考えられる。</p> <p>○ 以前に比べて「7割」という加入率はずいぶん低下しているように見える。分析してほしい。</p>	<p>○ 本校生徒の感染者は一定数あるものの、県全体や他校の感染者の状況と比較すれば、低水準に抑えられている。</p> <p>○ スクールカウンセラーの相談件数は、毎回の予約がほぼ埋まる程度に及んでいる。</p> <p>○ 令和2年度入学生を中心にコロナ禍の学校生活は大きな制約を受けており、様々な活動への生徒の意欲低下は認められるが、生徒サポートに各部、各行事担当のみならず、学校全体で取り組んだ。その結果が部活動加入率7割を保持につながった。引き続き活動を通じて生徒の変化に気づける体制維持を図る。</p> <p>○ 4年度は、体育館耐震工事の影響を直接受ける運動部の活動や、実施時期が例年と異なることに応じた文化祭の工夫が必要となる。</p>	<p>○ 新しい生活様式の指導や校内各所への消毒液配置など、ソフト、ハードの両面から生徒の安心安全のための体制づくりを続ける。</p> <p>○ スクールカウンセラーの適切な活用のため、教職員のカウンセリングマインドの醸成とともに、医療機関や総合教育センターの相談機能等への理解を深め、個々の生徒の実情に対応していく。</p> <p>○ 外部機関の利用や、生徒会本部及び教職員により活動の映像、画像の記録を積極的に進め、その公開方法もあわせて検討する。</p> <p>○ 部の活動では外部機関の利用や連携の可能性を探り、活動の場、支援者の開拓をする。文化祭は短時間で準備するために目標の明確化と計画性を重視する。</p>

視点	4年間の目標	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月24日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>① 生徒一人ひとりが自己理解を深め、職業観・勤労観を育てることにより、将来を主体的に考える姿勢を育成する。</p> <p>② キャリア教育の柱として、進学から将来設計につながる探究活動の充実を図る。</p>	<p>② キャリア教育の柱として、進学から将来設計につながる探究活動の充実を図る。</p>	<p>② 総合的な探究の時間を活用し、SDGs等の現代的な課題に取り組むことを通じて生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策による進路活動の停滞等に対する生徒の不安解消に努める。</p>	<p>② 総合的な探究の時間を有効的に活用し、生徒のキャリア発達を促し、進路満足度100%を達成することができたか。</p> <p>② 3年生を中心に進路情報を正確かつ迅速に提供し、一人ひとりの進路実現に繋げることができたか。</p>	<p>② SDGsに関して学年ごとにテーマを定め探究活動を継続的に行い、現代的な課題について自分事として捉える意識が生徒に芽生えた。</p> <p>③ 3年生はアイデンティティ探究活動を通じて、自らの進路決定へとつなげていくことができた。</p>	<p>② SDGsについては、生徒が主体的に探究活動を行うように、教員による問題提起に工夫を凝らしていく。</p> <p>③ 進路探究については常に最新の情報を生徒と共有し、満足度100%を目指していく。</p>	<p>○ 探究活動の結果をプレゼンテーションさせることで表現力が身に付くと思うので、表現力向上に経験値を重ねて行くことは評価できる。</p> <p>○ 1年生の時から進学先の目標を定め、学習と部活動に取り組み、指定校推薦で進学を決めた生徒がいることは評価できる。指定校推薦のある大学等の公表でより分かりやすい工夫をして欲しい。</p>	<p>○ 探究的な学習におけるSDGsへの意識やICTの活用は、今後の高校入学生に関しては小中学校段階でかなり進んでいると認識している。高校でそれが後戻りさせることのないよう取組が必要となる。</p> <p>○ 指定校推薦や公募推薦、総合型推薦に関する正確で公平かつ妥当性を担保した情報提供のために、指導に当たる教員のスキルを向上させる必要がある。</p>	<p>○ 実力テストの実施などでは、学習支援グループが導入を推進する学習動画コンテンツと調整、連携して、より成果を上げることが目指す。</p> <p>○ 進路関係者を通じた情報に加え、教員自らが入試説明会等に積極的に赴き、知識と理解を深めるよう取り組む。</p>
4 地域等との協働	<p>・ 地域社会との交流や連携・協働を通して、地域とのつながり・絆を強化し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p>	<p>・ 地域社会との交流や連携・協働を通して、地域とのつながり・絆を強化し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p>	<p>・ 今までの地域との連携の継続をできるだけ図る。</p> <p>・ 学校説明会や学校見学を可能な限り実施するとともに、ホームページ等による学校紹介をより充実させる。</p>	<p>・ 地元小中との交流の充実を図ることができたか。</p> <p>・ ホームページの更新回数を平均週2回程度行えたか。</p> <p>・ 学校説明会を2回以上、見学会を中学生の要望に応じて対応することができたか。</p>	<p>・ 荏田坂清掃及び地元小中学校との交流を感染対策に十分配慮して実施した。実施できなかったものについても連絡体制を維持している。</p> <p>・ ホームページをほぼ定期的に更新したが、目標には届かなかった。</p> <p>・ ホームページによる積極的な広報を行い、1週間にわたる学校見学会と2日間で4回の学校説明会を行った。</p>	<p>・ コロナ禍での交流事業の実施に難しい点が多かったが、各交流事業について連絡体制を整えておく。</p> <p>・ 目標回数に届かなかったが、ホームページによる発信頻度は増えた。今後もさらなる組織的な情報発信に力を入れていく。</p> <p>・ 学校説明会の参加受付で県の電子申請システムを活用した。学校の広報活動等に今後も役立てていく。</p>	<p>○ グリーンクリーン荏田大作(小学生と協調した地域清掃)を実施できたことは良かった。</p>	<p>・ コロナ禍であっても、可能な範囲の地域連携の実施は学校と地域の双方にとって非常に意義であり、継続する必要がある。</p> <p>・ 令和4年度入学者選抜では1.2倍近い倍率となり、中学生や保護者から魅力のある学校として認知されているものと思われる。</p>	<p>・ 学校の教育活動の様々な場面で地域の力の活用や地域による学校理解を進めることが今後の学校運営には重要であると認識し、連携の場を逃さないよう情報の収集と発信に努める。</p> <p>・ ホームページの活用をはじめ、効果的な学校の広報の時期や方法などを考えながら、引き続き中学生等に適切で十分な理解を求めるよう努める。</p> <p>・ e-kanagawa電子申請は、学校説明会、学校見学会の実施に際して事故防止の観点からも引き続き活用していく。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>① 生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>② 職員が学校運営上の課題を理解・共有し、安全・安心な学校づくりに邁進するとともに、事故・不祥事防止の徹底をより一層推進する。</p>	<p>② 職員が学校運営上の課題を理解・共有し、安全・安心な学校づくりに邁進する。</p>	<p>② 安心・安全な学校づくりを目指し、防災教育や人権教育等を推進するための教員研修等を実施する。</p>	<p>② 防災教育や人権教育等を推進するための教員研修等を実施したか。</p> <p>② 防災教育や人権教育等を通じて安心・安全な学校づくりを進めることができたか。</p>	<p>② 本校担当のスクールカウンセラーを講師に招き、教員対象の人権教育研修会を実施した。本校における課題に加え、少年法改正に伴う生徒支援上の課題も併せて理解することができた。</p> <p>② 学年別であったがグラウンドを避難場所とする避難訓練を2年ぶりに実施した。</p>	<p>② 少年法改正の影響を注視し、職員間で問題共有を図っていくことが求められる。3学年の担当になる前から、学年の枠を超えて情報共有と連絡体制を確立させることが必要である。</p> <p>② コロナ禍で密を避け避難場所を確保することは課題である。避難経路も含め検討していく。</p>	<p>○ コロナ禍の中でも災害は来る。校舎外に出る避難訓練は必要である。</p> <p>○ 防災教育にタブレット端末を活かすこともできるのではないか。</p>	<p>○ 最近の社会情勢に鑑みても、人権意識を高めることは将来の社会人としての必須の素養となることが予想される。</p> <p>○ DIG(災害図上訓練)の実施は徐々に定着してきている。</p> <p>○ 大規模校であるために、全校一体となった防災避難訓練をコロナ禍の収束しない状況下で実施できる防災意識の向上の方法を探っていく。</p>	<p>○ LGBTQや人種差別、民族問題など人権に係る問題を幅広く捉え、研修等によって教員が知識や理解を高めることで、生徒への適切な指導を行うことができるように取組を進める。</p> <p>○ DIGの実施にICTを活用することなど、新しい技術や手法により、現在の状況下で実施できる防災意識の向上の方法を探っていく。</p>